

教育長	教育部長	課長	指導主事	課長補佐	主査	係	保存区分
							永・10 5・1

令和元年大口町教育委員会 8月定例会議

令和元年 8月29日

午前 9時30分 開 議

大口町中央公民館 2階 C会議室

議事日程

日程第1 教育長報告

日程第2 議事録署名者の指名

日程第3 議 題

議案第13号 大口町教育委員会後援名義の使用許可について

日程第4 連絡事項

- (1) 全国学力・学習状況調査結果の報告について
- (2) 大口町教育委員会外部評価委員会評価を受けて
- (3) 大口町教育委員会後援名義の使用許可の報告について
- (4) 各課からの連絡について

日程第5 その他

出席者

教 育 長	長 屋 孝 成	教育長職務代理者	藤 田 金 生
委 員	丹 羽 茂 文	委 員	鈴 村 由 布 子
委 員	水 谷 恵 子		

説明のため出席した者

生涯教育部長 渡邊俊次

学校給食センター所長 江口靖史

町史編さん室次長 木浪浩行

学校教育課長 倉知千鶴

生涯学習課長 丹羽武弘

町立図書館長 吉田桂志

学校教育課主幹兼
指導主事 江口孝一郎

学校教育課長補佐 兼 松昌史

◎開会

○長屋教育長 それでは、定刻になりました。

本日の出席委員は4名であります。定足数に達しておりますので、これより令和元年大町教育委員会8月定例会を始めます。

傍聴人はございません。

(午前 9時30分)

◎日程第1 教育長報告

○長屋教育長 日程第1、教育長報告ということで、諸案件を報告させていただきます。

前回は7月24日でした。それ以降の件につきまして、特に夏休み中ではありますが、一番心配したのは、児童・生徒の生活面がどうだったのかなということですが、現時点で昨年度のような児童・生徒の不祥事、事故等の報告がありませんので、元気に9月の始業式に来るのではないかなと思っております。

なお、例年、9月の初めといいますのは、小・中学生は日々の夏休みの長期休業中で生活のリズムが壊れている子がいまして、問題が起きたり、登校を渋ったりということがありますので、本当に一人一人に応じた声かけをして、円滑に2学期を迎えられるようにしていきたいなと思っております。

中学生の活躍についてですけれども、7月25日に広島派遣団の結団式を行い、8月5、6日、広島に行って体験をし、そして8月21日の町の平和記念式典で派遣の報告を本当に立派に果たしてくれました。ことしも12名の生徒が、みずから応募した生徒ですが、当時の状況の体験談とか、それから被爆、商工会館とか記念資料館、そして式典での学んだこと、体験したことをうまくまとめて発表し、よかったなあと思っております。

また、8月2日には丹羽郡のスピーチコンテストがありましたが、大町町の中学校3年生の子たち7名が出場しておりましたけれども、全部とても感動的な話でしたが、とりわけ大中の3名の子は一段と頑張って発表して、最優秀賞をとったのも大中の子でありました。

それから、中学生で東海大会へ出場したのが、陸上とか水泳で8名の生徒が出まして、8月には、町長を表敬訪問し、大変そういう面でも活躍をしたようであります。

それから、新聞でも出ておりましたが、名古屋市の学校でしたけれども、ファイアトーチで腕に油が垂れてきてやけどをしたという事件がありまして、大町町はどうなっているのかなということですが、大町町は、もう既に大町北と西は終わったわけですが、これは児童には関係なく、先生がやるということでありましたし、それから南小学校はこれからということですが、ちょっと今までやっていたことから、安全なトーチ棒に変えて実施をするとい

うふうに聞いております。

それから、夏休み中には台風6号、それから10号がありましたけれども、この近くは大きな影響は受けませんでした。8月9日だったと思いますが、3時34分にガソリンとか時限爆弾を起爆させるというような犯行予告メールが県、県内施設に届きまして、この対応も大変苦慮をしたところでありましたけれども、部活動などを中心にして対応をしました。

それから、8月22日から23日にかけて、東海・北陸地区の町村教育長研究協議会が金沢でありまして参加をしてきました。

研究協議会におきましては、東海・北陸の6県の代表が発表しましたが、そのうちの4県は児童・生徒数の減少に係る問題が取り上げられておりました。中でも、愛知県は美浜町が代表で発表してもらったわけですが、美浜町といいますと、小学校が6校、中学校が2校であります。平成10年から令和10年の30年間に、小学生は43%、中学生は48%減少していく数字が出ておりました。これに対して統廃合をこれから進めていくと。しかし、地域の反対する声も大変強いものがあり、いろいろと困難な問題を抱えているという報告がありまして、大口町はこの点については今のところ全く当てはまらないと安堵して帰ってきた次第であります。

それから、研修視察では金沢城を久しぶりに訪れましたけれども、金沢城は随分と整備をされて一見に値するところでもあります。とりわけ、ここも伝統的な技術を絶やさないために整備をやっている面がありまして、ひし形の柱のつくり方とか、そういうつくりというのは本当にすごい技術だなと思って帰ってきました。また、委員の皆さんも向こうへ行かれたら、ぜひ参観をしていただくといいかなと思いました。

なお、金沢の人に言っちゃあいかん言葉はこういうことだということで、小京都という言葉が金沢の人に使うと顔色が変わるということも教えてもらいました。

それからもう一つは、金沢の現在抱えている教育の問題として、教員が大量退職をして、大量に若手を採用したために、今までの研修のあり方ではできないということで、教員の研修制度の見直し、それから新たな方法を取り入れて教員を育てているという話はとても参考になりましたし、それから、多忙化解消に向けた取り組みの現状と課題という報告もいただきましたが、同じような問題は愛知県だけじゃなくて、東海4県、同じようにあるなあと思って帰ってきました。

報告につきましては、以上であります。

◎日程第2 議事録署名者の指名

○長屋教育長 続きまして日程第2、議事録署名者の指名を行います。

議事録署名者には、藤田金生教育長職務代理者と丹羽茂文委員を指名しますので、願

たします。

◎日程第3 議 題

議案第13号 大口町教育委員会後援名義の使用許可について

○長屋教育長 続きまして日程第3、議題、議案第13号 大口町教育委員会後援名義の使用許可につきまして、事務局、説明をお願いします。

○兼松学校教育課長補佐 では、議案第13号 大口町教育委員会後援名義の使用許可について。

別紙のとおり後援名義使用許可申請がありましたので、大口町教育委員会の議決を求める。令和元年8月29日提出、大口町教育委員会教育長 長屋孝成。

提案理由、この案を提出するのは、大口町教育委員会後援名義使用に関する要綱第5条により審査を求めるため必要があるからである。

1枚めくっていただきますと申請書の写しになります。

申請者、大口町ソフトボール協会。事業名、第34回愛知県理事長杯争奪ソフトボール大会。目的、町民のスポーツへの関心を高め、大口町のスポーツに対する熱意を町内外に広めたいと。事業概要としましては、愛知県下16チームにより年1回開催で、ことし、大口町が会場になるものであります。大会要項や収支は裏面、または別紙のとおりであります。

また、近隣で後援名義をとったりしたときの過去の扶桑町と稲沢市の当日の冊子の頭紙がついております。

あと、期日が令和元年9月22日日曜日、29日日曜日、予備日が10月6日日曜日、場所が総合グラウンドとなっております。以上でございます。

○長屋教育長 ありがとうございます。

事務局の説明が終わりました。

御質問、御意見等ございましたら。

(挙手する者なし)

○長屋教育長 ないようですので、これをもちまして質疑を終了ということで、議案第13号の採決をします。

使用許可につきまして、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○長屋教育長 ありがとうございます。

異議なしと認めます。よって、この件につきましては、使用許可をお願いをいたします。

◎日程第4 連絡事項

○長屋教育長 議案は以上でありまして、日程第4、連絡事項に入ります。

まず(1)全国学力・学習状況調査結果の報告につきまして、事務局、お願いします。

○江口学校教育課主幹兼指導主事 お願いいたします。

平成31（令和元）年度全国学力・学習状況調査結果の資料をごらんください。

初めに、表の見方について説明をいたします。

1 ページは、小学校の平均正答率を示した一覧となります。一番上に本年度、平成31（令和元）年度の結果、2 段目に昨年度、3 段目に29年度というように記載がしてあります。

表の中で赤いところは全国平均よりも2ポイント高いことを示し、青いところは2ポイント低いことを示しています。3 小学校と、それを総合した大口町、愛知県、全国を比較して見られるようになっています。

調査科目については、本年度は国語、算数について実施されました。昨年度まで知識、技能などを問うA問題と、活用に関する力を問うB問題に分けて調査をしておりましたが、本年度は一体的に行うことになったところが変更点となっております。

2 ページをごらんください。

2 ページは中学校の結果になります。

1 ページと同様に上から本年度、昨年度と順にさかのぼって記載をしています。一番下の表は参考資料として、ことしの中学3年生が小学6年生のときの調査結果と比較したものを載せてあります。調査項目が中学校は国語、数学、英語（聞くこと、読むこと、書くこと）、英語（話すこと）について実施されました。A問題、B問題に分けて調査されていたものが一体的に実施されたのは小学校と同様です。英語調査が初めて実施されたことが、昨年度までとの大きな変更点となります。

3 ページをごらんください。

3 ページは小学校の得点分布の状況として、平成30年度と平成31（令和元）年度のグラフが載せてあります。横軸は正答数、縦軸はその正答数における割合を示しています。棒グラフは大口町の現状、実線の折れ線グラフが全国、点線の折れ線グラフが愛知県の分布となっております。真ん中より左側が昨年の平成30年度、右側が本年度の平成31（令和元）年度のグラフとなります。

4 ページをごらんください。

4 ページは中学校の得点分布状況のグラフとなります。3 ページの小学校と同様、真ん中より左側が昨年度、右側が本年度のグラフとなっております。

今回はこれらの結果の分析を報告いたします。

まず、得点結果からの考察です。

5 ページと 1 ページ、2 ページを比較しながらお聞きください。

1 ページ、小学校を見ていただきますと、国語は全国平均と同程度、算数は全国平均をやや上回る結果でありました。

2 ページ、中学校を見ていただきますと、国語と英語（聞く、読む、書く）は全国平均をやや下回る結果でありました。数学は全国平均と同程度の結果でありました。英語（話す）は全国平均を下回る結果でありました。本年度の中学 3 年生が小学 6 年生だったときの調査結果、平成 28 年度は、A 問題、B 問題に分かれていたため、そのまま比較ができるわけではありませんが、全国平均値との差を見ると、状況としては余り変化が見られないと考えられます。

次に、得点分布状況からの考察となります。

5 ページと 3、4 ページを比較しながらお聞きください。

得点分布状況を視点にした際、キーワードになるのが二極化という言葉です。通常の得点分布状況は、得点分布をグラフであらわすと正規分布曲線といって平均付近の人数が一番多く、平均付近を頂点とした山型分布になります。これに対して二極化と呼ばれるものは、平均付近が少なく、その分、学力上位層と下位層に分かれる、いわゆるフタコブラクダのような形状となります。中間層が少なく、往々にして下位層に流れることが多いので、得点分布状況としては好ましくない傾向にあると言われます。こういった視点も持ちながらグラフを見てみます。

3 ページ、小学校の本年度のグラフを見ていただくと、国語は正答数が 11 問、6 問にピークのある二極化の傾向が見られます。下位層がやや少ないですが、正答数ゼロ問の児童の割合はやや多いように感じます。正答数 12 問以上の児童の割合も全国よりやや少ないように思われます。

算数は正答数が 11 問、6 問にピークのある二極化の傾向が見られます。上位の割合が全国よりもやや多く、下位層の割合がやや少ないように思われます。

4 ページ、中学校の本年度のグラフを見ていただくと、国語は正答数が 9 問、4 問にピークのある二極化の傾向が見られます。正答数が 8 問以上の生徒の割合がやや少なく、下位層の割合がやや多いように感じます。

数学は正答数が 13 問にピークがありますが、7 問、4 問、1 問などにも割合の多いところが見られます。上位層の割合、下位層の割合を計算してみると全国と同程度の分布でありました。

英語（聞く、読む、書く）は正答数が 12 問にピークがありますが、18 問、10 問、8 問などにも割合が多いところがあり、分布にばらつきが見られます。正答数 13 問以上の生徒の割合が全国よりも少なく、正答数 8 問以下の生徒の割合が全国よりも多いことから、全国よりやや下方に分布が見られると思われれます。

英語（話す）は正答数 1 問にピークがあり、全国の分布と同様の傾向が見られます。しかし、

正答数ゼロ問の割合が全国に比べて多く、2問以上の割合が少ない状況となっております。

今回の結果とその分析を踏まえ、今後の対策について検討していきたいと考えております。

今回の報告は以上となります。

○長屋教育長 ありがとうございました。

何か御質問等がございましたら。

○藤田教育長職務代理者 英語の話すという調査ですが、本町も含め、全国的にその調査の正当性はどうなっているの。正答率がこんな低い調査をして何にするの。そこら辺の見解は出ていますか。

○長屋教育長 事務局。

○江口学校教育課主幹兼指導主事 初めての調査で、まだ実際に話す活動という学習自体が、まだ十分に行われていない現状を反映しているかなとは考えます。

○藤田教育長職務代理者 だから、これについてはもうちょっと検討してもらわないかんですね。

○江口学校教育課主幹兼指導主事 はい。

○長屋教育長 よろしいですか。

(挙手する者なし)

○長屋教育長 それでは、この件については終わりました、次、大口町教育委員会外部評価委員会の評価を受けてということで、事務局、説明をお願いします。

○兼松学校教育課長補佐 厚い冊子になりますが、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書で、中身は平成30年度事業、昨年度の事業で外部評価をしてまいりました。

日程は、少しページをはねていただきますと、1ページになっておりますが、今年度、7月12日金曜日、7月17日水曜日、8月1日木曜日で3回に分けて実施をさせていただきました。

今年度の外部評価の委員さんはお二人、千田健三さんと江口かおりさんで、江口かおりさんは今回から新たに委員で、2名の委員さんで実施をさせていただきました。

議会も8月20日の文教福祉常任委員会協議会で報告をさせていただきますして、今回、完成版という形で各委員さんにも報告をさせていただきますのでお願いをしたいと思います。

また少し御確認いただいて、御質問等があれば、また後日、個々に御確認をしていただければいいかなと思いますので、一度、お目通しをと思います。

簡単ですが、以上でございます。

○長屋教育長 はい、どうぞ。

○丹羽委員 確認ですけど、委員さんというのは大口町在住の方ですか。

○長屋教育長 事務局。

○兼松学校教育課長補佐 千田さんは町外の方ですが、江口さんは町内の方です。

○丹羽委員 そうですか。

ちょっと私も見させてもらって、うがった見方をするんだけど、千田さんは町外だからリフレッシュにBをつけるんですかね。町外って対象じゃないですよ。

○長屋教育長 いや、町外でも長年大口町で働いてとかがあればよかったはずですよ。

○丹羽委員 いいんですか。僕、この間も言ったけど、リフレッシュが結構、こんなことをやっているのはなかなかないのに厳しいBをつけられる方が見えるから、自分が対象になっていないかなと思って、いつもうがった見方をするんだけど、何でAをつけてくれませんか。

○長屋教育長 千田委員さんは、もともと大口北部中学校で勤務をした経歴の持ち主です。

よろしいですか。

○丹羽委員 はい。

○長屋教育長 じゃあ、また熟読していただいて、こういう点という疑問点、問題点、お考え等があったら事務局に聞かせてください。

じゃあ、続きまして3番、大口町教育委員会後援名義の使用許可の報告について、お願いします。

○兼松学校教育課長補佐 大口町教育委員会後援名義の使用許可の報告について。

このことについて、大口町教育委員会後援名義使用に関する要綱第5条第4項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

使用許可であります。4件ございます。

1件目、申請者、愛知駅伝実行委員会。許可年月日、令和元年7月19日。事業名、第14回愛知県市町村対抗駅伝競走大会。

2件目、申請者、名古屋法務局愛知県人権擁護委員連合会。許可年月日、令和元年8月5日。事業名、第47回人権を理解する作品コンクール。

3件目、申請者、オフィスヨコタ。許可年月日、令和元年8月15日。事業名、0才からのジャズコンサート。

4件目、申請者、地域別県民文化大祭典2019江南ブロック。許可年月日、令和元年8月15日。事業名、地域別県民文化大祭典2019。

以上4件であります。

実績報告であります。

1件、申請者、江南サマージャズフェスティバル実行委員会。許可年月日、平成31年3月20日。事業実施日が令和元年8月4日であります。事業名、江南サマージャズフェスティバル2019。以上でございます。

○長屋教育長 ありがとうございます。

報告でありますので、よろしいですね。

それでは、続きまして各課からの連絡、順次お願いします。

○丹羽生涯学習課長 それでは、生涯学習課から説明をさせていただきます。

まず、報告事項が2点ございます。

1点目は、愛知駅伝に向けた陸上記録会を第4回になりますが、8月17日土曜日に開催いたしました。27の方が参加をしていただきまして、これで第4回ですので、4回までの記録結果に基づき、これより選手を選考していく段階に入りましたので報告をいたします。

それから、2つ目でございますが、8月24日、先週の土曜日でございますが、愛知スポーツ・レクリエーションフェスティバル2019 西尾張地区大会で、大口町総合運動場にて、種目、グラウンドゴルフを開催いたしました。参加につきましては、13市町のチームが参加をしてございます。

それから、今後の予定でございます。

9月1日と8日日曜日、地区別ソフトボール大会が総合運動場で開催されます。天候がちょっと危ぶまれますが、予備日は15日を予定しております。参加チームにつきましては、男子が13チーム、女子が2チームになります。

それから、9月に入りますと後期生涯学習講座の開始ということで、受け付けを9月7日土曜日に行います。円空仏彫刻を含め11講座の開催予定をさせていただきます。

それから3つ目でございますが、ラグビーワールドカップ2019が9月から開幕をいたします。これに合わせて、9月20日金曜日、夜7時45分、東京スタジアムにおいて日本戦が行われます。このため、中央公民館の視聴覚室を利用いたしましてパブリックビューイングを開催する予定でございます。ラグビーといえども、名前は知っているけどルールがわからないということもありますので、始まる前にスポーツ推進委員が簡単なルール説明を行ってから映像を見る予定をさせていただきます。

それから最後でございますが、文化協会の芸能発表会、毎年11月に開催されまして、ことしは11月10日日曜日でございますが、昨年度7月に芸能発表会を行いました後、役員会で今の文化協会に合った発表の仕方をするかどうかということで議論を重ねてまいりました。やり方、司会進行、その他等々の中に来賓案内の部分についても少し見直しをしたほうがいいのではないかとということで、これまで教育委員の皆様方に御案内を差し上げておりましたけれども、今年度からは社会教育委員さんに案内をして進めていこうというように役員会で決定されました。とはいえ、教育委員会からの選出の社会教育委員さんは御出席の案内が出ることとなりますので、御承知おきをお願いできればなと思っております。以上でございます。

○江口学校給食センター所長 給食センターから連絡ですけれども、一応夏休み中にスチームコンベクションオープン1台と蒸気式の消毒保管機2台、それと電気式の消毒保管機1台の取りかえ工事が終わりました。それとあと、ボイラーに使用するLPガスの蒸発器のベーパーライザーの2基の取りかえ工事を夏休み中に行いました。

あと、2学期の給食が9月2日月曜日の始業式から開始になります。以上です。

○吉田町立図書館長 図書館から御報告いたします。

8月3日、「輝け夏の三角形！プラネタリウムがやってきた！」ということで、毎年行わせていただいておりますものが、1日に4回、10時、11時、1時半、2時半で、各回40名で募集をかけておりますが、実は42枚配っておりますので、160名を超える方が御参加をいただきました。ことしは五条川自然塾と当たりまして、毎年、午前中からなくなっていくんですけど、ことしは昼からなくなっていったというような傾向が出ております。

それと、8月から図書館の壁を利用して図書館ギャラリーを始めさせていただきまして、第1回で町史編さん室と共同で大口町の動物ということで、大口町に生息しています動物の写真と骨格標本ですとか、標本の展示をさせていただいております。2カ月開催する予定になっております。

それから、これからの予定ですが、31日土曜日、今度の土曜日ですが、10時からと1時半、夏のこども映画会を行わせていただきます。

それから、21日に秋のおはなし会ということで、こちらは西小学校の読み聞かせボランティアグループであります「ぐるんぱ」と共同で、「ぐるんぱ」さんがお話しはやっていただけるということで行わせていただく予定になっております。

済みません。1つ忘れておりましたが、夏休みチャレンジ講座で8月6日にNPOの「まちねっと」さんが主催で行っているのに図書館が参加する形で、飛び出す絵本をつくろうということで、手づくりで飛び出す絵本をつくってもらおうということで、13名の参加者があって、時間内にぎりぎりできるという形で親子でつくっていただくという形でさせていただきました。

以上で報告を終わります。

○木浪町史編さん室次長 町史編さん室でございます。

8月24日に毎月定例の編集委員会を行いました。なお、8月の上旬、1週目でございますんですが、各小・中学校に教育関係の執筆を担当する委員さん2名と一緒に各学校で保管をしておられる資料の調査をさせていただきました。その資料の調査をすることによって、今後、その資料を使って昔から続いている行事ですとか、遠足はどこに行ったのかという拾い出しをどんどんしていくということでの調査でございます。

1つ例を申し上げますと、大口中学校では御来光を拝みに伊吹山へ登るというのを昭和23年

から昭和38年まで行っておられたということで、その思い出話をちょっと文章で寄せていただいた方がいらっしゃったものですから、それに合わせてちょっと調査をしたいということで、そういうことがわかったということが一つございます。

そんなことで調査を重ねていくことによって、小・中学校の児童・生徒たちの昔から今に至るまでの学校生活の様子を書いていきたいということで今進めているところでございます。

それから、来月の9月21日には、午前中が町史編さん講座ということで、戦後の暮らしと日記を読み解くということで行います。そして午後、編集委員会の会議という予定をしております。以上でございます。

○倉知学校教育課長 最後に、学校教育課から御報告をいたします。

3点ほどございます。

以前、関戸士郎先生の死亡叙勲で申請をいたしましたものが8月の末、10日ぐらいだったと思いますけれども、おりてきました。関戸先生は、平成18年に叙勲をいただいております関係で、死亡されたときには位記というちょっと聞きなれないものでしたけれども、そういうのをいただいております。今後、速やかに御自宅にお届けできればと考えております。

2点目は、議会です。一般質問が9月議会でありまして、学校教育課3名の方から質問をいただいております。主に登下校時の安全面のボランティアさんの関係の質問がお二人と、あと西小学校の校舎の改築に関する御質問がございました。特に、登下校の安全面につきまして、保護者さんがボランティアの方を当然のように思っているというようなことに対して、学校で何らかの指導という言葉は当てはまらないと思いますが、何らかできないだろうかというようなお話もございまして、この内容に非常に難しいなと考えながらも回答をしていく予定ではございます。

最後に、令和2年度の新1年生の準備が9月から始まっていきます。8月23日現在で、令和2年度の新1年生の人数は合計して258名を今のところ予定をしております。内訳は、南小学校が55人、北小学校が114人、西小学校が89人になります。このままでいきますと、北小学校の1年生は来年度4クラスになってくるかと思っておりますので、またその準備に滞りがないように実施していきたいと考えております。

以上で報告を終わります。

○長屋教育長 ありがとうございました。

各課からの連絡がありましたけれども、御質問等ありましたらお願いします。

よろしいですか。

(挙手する者なし)

◎日程第5 その他

○長屋教育長 それでは、連絡事項を終わりました、日程第5、その他ということで、事務局、ありますか。

○丹羽委員 ちょっとよろしいですか。

○長屋教育長 はい、どうぞ。

○丹羽委員 さっきの学力テストで余り質問の時間がなかったものですから、ちょっと江口先生にお聞きしたいんですけど、これ私、ずうっと長いこと、この学力テストの問題もを見せていただいて、結果もずうっと見て、さっき言われたラクダの2こぶの現象が出るというのは、私の想像なんだけれども、今の公立の小・中学校の教育がどっちかという私学みたいにエリートだとか、特進学級をつくってどんどん伸ばしてくというよりも、ようできるやつはほっておいて、できないやつを何とか底上げしようという小・中学校の教育の、全国もみんな一緒ですよ、その結果に見えるんですけど、違いますか、この2こぶは。そういうのも一因じゃないかなとずうっと、2こぶって昔からあるじゃないですか。昔からあるということは、底上げ教育。

でも、世の中に出れば、力のあるところに人が寄ってきて、リーダーシップのある人のもとで幸せな人生を築いていこうとしているのに、公立の小・中学校だけ一生懸命底上げをして、優秀な人は自分でやってくれるからといって、手を抜くわけじゃないんだけれども、どっちかという底上げにというのが、こういう力に影響する、特に算数・数学なんかの2こぶに出てくるんじゃないかなと、ずうっと何年間も見ていて違和感があるんですけど、これは余りにも私のこじつけですか。

○長屋教育長 指導主事、どうですか。

○江口学校教育課主幹兼指導主事 そうですね。実際、何が原因かというのは複合的なものなので、本当に難しい問題だなと。

いつも同じような現象が出てくるといのは、子供も変わっているのに状況が変わらないといのは、本当に不思議なところでもあるんですけど、学校ではもちろん委員さんがおっしゃるように、やはり基礎基本を全ての子にまずきちんと身につけさせたいということで力を入れてやっているというところはあると思うんですけど、実際、学校だけでは難しいところもありますし、その辺のところうまく全部がリンクして底上げがされていくように学校としても努力しているというところで、なかなか結果が伴わないという。実際、やっても、その現象がどうして続くのかというのが本当にまだまだ課題で、今後また検討していかなければとは自分は思っているんですけども。

○長屋教育長 今の件といたしますか、ほかに御意見ございましたら。

藤田委員、どうですか、2こぶ……。

○藤田教育長職務代理者 下のほうからずうっと底上げしてくればあれですかね。一番正答率の少ないのは上がってくるはずなんだけど、底上げばかりしたからじゃなくて、上のほうが多かったから2こぶとも考えられませんし、2こぶはいろんな状況がありますので。

極端な話をしますと、英語なんて中学校から初めて始まる教科なんですけど、そこで2こぶなんかが出たとしたら、僕の直感でいけば、英語の先生は何をやっておるとまづ行きます。2こぶをね。ここら辺なんかを見ても、英語なんかをぱっと見てみると、丹羽さんがおっしゃるとおり上位が少ない。もうちょっとやってもらわないかんというような気持ちはあるんだけど、そんなことは言いませんけど、確かに英語だけを見ておれば底辺はゼロはなくなって、底上げしておってもらうんでいいと思いますが、上位が少なくなるのはちょっと寂しいということはいい。

でも、2こぶになるのが、下だけかさ上げしたから1こぶ下じゃなくて、全く教えんでも2こぶできますので、何とも僕、よう判断しません。

○長屋教育長 ありがとうございます。

鈴木委員、何かもしありましたら、いいですか。

○鈴木委員 学力調査と合わせて生活の調査もされていますよね。そちらもちょっと気になったんですけれども、ちゃんと朝御飯を食べているかとか。そういったことの調査のほうが、私は学力的には余り信頼していないじゃないですけれども、それよりもそっちの生活面の調査が気になるので、ちょっとそちらの報告もいただけたらとよかったかなと思います。

○長屋教育長 そうしたら、今の件につきまして、また次回、9月定例会の折にそういう資料をまたまとめて検討させてもらいます。

○藤田教育長職務代理者 多少その傾向があるぐらいで、ひどい2こぶではないと思っておりますけど……。

○長屋教育長 水谷委員、何かもし、なければ結構ですが。

○水谷委員 中間層が少なく下位層に流れることが多くて好ましくないということはよくないと思いますので、そのような状況にならないようにしてほしいです。

○長屋教育長 ありがとうございます。

また、今、御意見をいろいろいただいたことにつきまして、学校連絡会の折にまとめて、また各学校の校長先生と懇談といたしますか、話をしていきたいと思います。ありがとうございます。

○丹羽委員 もう一ついいですか。

○長屋教育長 はい、どうぞ。

○丹羽委員 図書館長さんね、非常にきちっとやって、僕も非常によくちらっと行くんですけど、うちの東京におる娘がお盆なんか帰ってくるとちびを連れてくるもんだから、図書を12冊か何かまで借りられますよね。いっぱいいっぱい借りに行くんだけど、100%、江南図書館に行くんですわ。うちの娘が3人来ても絶対に、女房まで江南図書館に……。

それで私は、あんな立派なのに何で行かないのと言うと、やっぱり駐車場と、フラットと、エレベーターに乗らなくてもいいのと、それから入ったときの閲覧というのか、何か図書館ぼくて、非常にこういうものがあってこうという、とりやすいんです。ここだと何か、そんなことがあるのかなと思うんだけど。

だから一時、すごく図書館をやろうとって、西小をほっておいて図書館をつくっておいたら怒られちゃうと思うんだけど、そういう機運ががばっと盛り上がり、今も新しい図書館を、例えば北小の跡につくろうとか、こういういろんなあれがしぼんでいっちゃったんだけど、実際、利用する立場で、うちの娘たちだけかもわかりませんが、ここへ来ずに、もう本当に10回行くと10回、江南図書館へ行くんです。こっちに行けばと言うと、何かかなあ。そう距離は変わらんから、あっちへ行ったら駐車場も近いし、絶対にとめられるし、ちょっと歩いていけばフラットの状態で図書館に入れて、あと1階上がるだけだと。閲覧もどこにでもあるような普通の図書館ぼくて、ぽっぽっぽととって、はいと言ってやっていきやすいし、返すのも楽だと、上まで上がっていかなくてもいいからと言うんですけど、私の個人的な、周りの環境から見て、せっかくこんな立派に蔵書もあって。だけど、シチュエーションが違うだけで、中にあるものは何も変わらないと思うんだけど、それだけで利用をしないという現状が、うちだけかもわかりませんがありますよという情報です。

○長屋教育長 図書館長。

○吉田町立図書館長 まず、図書館の建設についてなんですけど、今年度の4月に全庁的にプロジェクトがつけられました。各部各1名の職員が入っておりまして、私もプロジェクトの中に入れさせていただいております。プロジェクトリーダーを私が拝命いたしまして、地域協働課長がサブリーダーという形で今進めております。

これは、実は地域協働課と図書館がずうっと進めていたものなんですけど、今の時代でいきますと、なかなか正直な話、図書館単体では、今、図書館そのものが教育委員会から町長部局へ移っているという時代が変わりつつあります。

それはなぜかといいますと、図書館が生涯学習の場ではあるんですけど、情報発信とか人が集まるというものに重きを置かれているというところから町長部局へ移るというような傾向があると思っております。今、そのほうは進めておりまして、候補地が何個か上がっておりますので、それを検討して今後進めていきたいと思っております。

図書館の内容については、面積はこれ以上何ともふやせないというのがありまして、私どももいろいろな手を使いながら、先ほどちょっと御報告させていただきました図書館ギャラリーなんていうのも、人を呼ぶために始めたりだとか、それから本年度、図書館から御提案ということで、特集コーナーというのを毎月4つやっています。図書館が本を集めて利用者さんに、やっぱり同じものを見るという傾向がありますので、そういうようなことをやって、9月から町民安全課と組みまして防災というような特集をやるだとか、健康生きがい課と組んで6月のときには食育をやるだとか、いろいろな手をやっているんですけど、その中で今、うちが少しかじを切りつつあるのは大口町独自路線を歩もうと。9万冊しかうちは蔵書がないもので、もう江南さんには勝てませんし、それから扶桑さんにも勝てません。一番やっぱり小さな図書館ですので、じゃあ9万冊の中でどういう本を収蔵していくかで、少し私どもの図書館としては今考えているというか、やり始めているのは、難しい大学とか企業の専門の知識が要するような本は蔵書をしていない。うちはそれは相互貸借という形で、県からですとか他の図書館から借りるというので、蔵書をしていない。

ただ、例えば日常会話ができる英語の本なんかは、逆にCDつきのものをいっぱい買いたしようと。それはなぜかといいますと、大口町はやっぱり外国人の方たちも多くなりつつあるというので、そういうような特色を出しながらというところを今頑張っていますという主観で、あと子供さんに力を入れておりますので、少しでも子供さんたちというようにことには力を入れていきたいと思っております。

どうしても駐車場の問題、3階の問題というのはクリアがどうしてもできないものですので、ここら辺のところは、障害者の方がお見えになっても、私どもの図書館では十分に回れないというのがありますので、その分は職員がつく。とれなければ、職員がどれをとりましょうとお声をかけるというふうに、ないものねだりをするのではなくて、うちがやれる方向にかじを切るということで今考えておりますので、またそういうようないろいろな御意見をいただければ、こうだったぞ、ああだったぞとか言っていただければありがたいと思っておりますので、ぜひまた委員の皆さんにはお声をかけていただければありがたいと思っております。

○長屋教育長 丹羽委員、よろしいですか。

○丹羽委員 いいです。

○長屋教育長 あと、委員さんから何かありましたら。

よろしいですか。

(挙手する者なし)

○長屋教育長 事務局、いいですか。

(挙手する者なし)

○長屋教育長 それでは、全ての案件は終了しました。以上で8月定例会を閉会いたします。

(午前10時23分)

上記会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

委 員

委 員